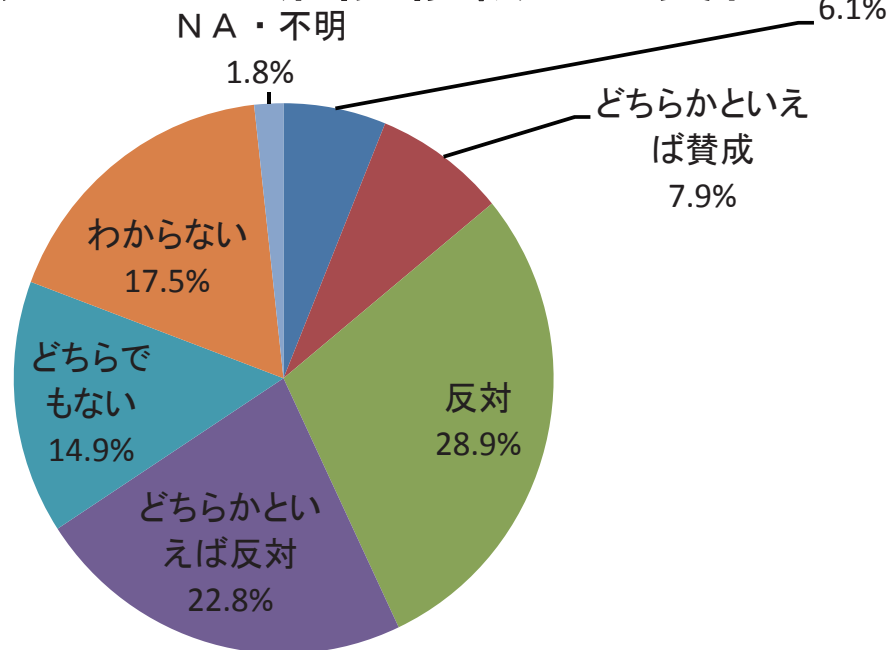


10月29日(土)支部総会「祝の島」上映会!

東播地域の子ども病院移転への賛否



明石支部に加古川・高砂などを加えた東播地域では、「反対」が28・9%と最も多く、「どちらかといえば反対」22・8%、「わからない」17・5%、「どちらでもない」14・9%、「どちらかといえば賛成」7・9%、「賛成」6・1%と続いております。全県に比べて反対意見が多かった。全県で、「反対」「どちらかといえば反対」の理由で最も多かったのは、「防災上の問題があるのを避けるべき」で68%。次いで「全県的に対応する立地条件として現在地の方がふさわしい」52%、「新中央市民病院の小児科・産科と機能が重複するので必要ない」46%。

東播地域では、「全県的に対応する立地条件として現在地の方がふさわしい」36・8%で最も多く、「防災上の問題があるのを避けるべき」30・7%、「移転しなくても高度な医療提供は可能」26・3%、「新中央市民病院の小児科・産科と機能が重複するので必要ない」25・4%、「現在地で改築できる」18・4%、「先端医療研究施設によるバイオハザードの心配がある」7・0%と続いた。全県的に防災の観点から移転計画を危ぶむ声が多いが、東播地域では、近隣地域として、全県をカバーする現在地での改修を支持する傾向が強いと見られる。

一方、「賛成」「どちらかといえば賛成」の理由で最も多かったのは、全県では、「新中央市民病院の小児科・産科との連携で機能が強化される」が62%。次いで「立地条件としてポアイの方がふさわしい」51%となった。東播地域では、「現在地では改築できない」7・0%が最も多く、「移転により高度な医療提供が可能になる」6・1%が続いた。

また、東播地域では、「こども病院となんらかの診療情報をやりとりしたことがある」は64・9%と全県の61%を上回っている。今回の移転は、単にこども病院にとつての問題だけでなく、防災問題と神戸市立中央市民病院と一体化することの問題の2点が焦点となっていることが、賛否それぞれの理由からうかがわれる。アンケートに対する反応は全県に及んでいる。診療科もほぼ全科を網羅し、開業歴も全年齢層から回答が寄せられた。こども病院が、全県のかつ多科目で小児医療・周産期医療のセンターとして高い役割を果たしていることを裏付けている。

協会アンケート調査

県立子ども病院のポータアイ移転

東播地域では半数の会員が反対

協会は、県立こども病院のポータアイランド(中央区)への移転問題について医科・歯科正会員4830医療機関にアンケートを実施し、8月末までに1037件の有効回答を得た。そのうち、「反対」「どちらかといえば反対」が45%と「賛成」と

ちらかといえは賛成」の22%の倍以上を占め、防災やアクセス、神戸中央市民病院へ隣接することなどの問題を懸念する声が多くなりみられた。アンケート回収率は22%(うち医科は26%)と会員署名などと比べても高く、関心の高さが示された。

県立こども病院のポータアイランドへ移転についての賛否は、「反対」が最も多く23%となった。次いで「どちらかといえば反対」と「わからない」が22%、「どちらかといえば賛成」13%と続いた。「賛成」は一番少なく9%だった。

兵庫 庫医 協会



No. 252

2011・9・25

投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部

支部長 吉岡 巖

神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号
神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL 〇七八―三九三―一八〇(代)
FAX 〇七八―三九三―一八〇二

☆協会ホームページ・明石支部→ <http://www.hhk.jp/sibu/akasi/akasi.htm> もぜひごらんください。

兵庫県保険医協会 明石支部 総会記念企画

映画「祝の島」上映会 講演会「原発を知る・被爆を知る」



■日時 10月29日 (土)

午後2時30分～

○講演会「原発を知る・被爆を知る」

講師：京都府保険医協会理事・医師 飯田 哲夫 先生

・14:30～15:00

○映画「祝の島」上映

・15:05～16:50

○総会議事&懇親会 (寿司・割烹 明石貞楽)

・17:00～

■会場 明石市市民ホール (定員150人)

明石駅南 UFJ 銀行西側の建物 (らぼす5階)

参加費無料

山口県上関町祝島。「海は私たちのいのち」と島の人は言う。1982年、島の対岸4kmに原子力発電所の建設計画が持ち上がった。以来28年間反対を続けている。効率と利益を追求める社会が生み出した原発。大きな時間の流れと共にある島の生活。原発予定地と祝島の集落は、海を挟んで向かい合っている。1000年先の未来が今の暮らしの続きにあると思うとき、私たちは何を選ぶのか。いのちをつなぐ暮らし。祝島にはそのヒントがたくさん詰まっている(祝の島公式ホームページより抜粋)。映画上映に先立って行う講演会「原発を知る・被爆を知る」では、核燃料再処理工場・青森六ヶ所村、日本で最初の死亡事故を起こした東海村JCO、地震で壊れた柏崎刈羽原発、住民の長年の反対を無視して強行される瀬戸内海・上関原発新設工事などを見て歩きながら、京大原子炉実験所の小出裕章氏をプレーンとして多くを学んできた医師の飯田哲夫氏を京都から招いて、今回の福島第一原発事故についてうかがいます。

返信FAX 078-393-1802まで

◇記念企画「祝の島上映会」&「講演会」

14時30分～□参加します () 人

◇総会議事&懇親会

(寿司・割烹 明石貞楽・参加費無料)

17時～ □参加します



JR・山陽電鉄 明石駅より徒歩約5分。(らぼす5階)

医療機関名 () お名前 ()

お問い合わせは、TEL 078-393-1807 担当平田・本田まで

保団連 第29回病院・有床診セミナー 参加記 病院の適時調査への対応強化を



全国から84人が参加した保団連の病院・有床診セミナー

保団連は8月20日、21日に大阪府保険医協同組合M&Dホールで、第29回病院・有床診療所セミナーを開催し、明石支部から吉岡巖支部長が参加した。参加記を紹介する。

保団連は8月20日、21日に大阪府保険医協同組合M&Dホールで、第29回病院・有床診療所セミナーを開催し、明石支部から吉岡巖支部長が参加した。参加記を紹介する。

大阪協会・京都協会から事前相談事例等を含めた報告があった。近畿厚生局が、病院の届出医療に対して届出要件等が守られているかを調査するために、数人で予告後に病院を訪問するのが「適時調査」だ。

問題があれば、改善命令・自主返還・取り消し等の処置がなされるそうだ。

2010年頃から「適時調査」は頻繁に行われ、ここ数年以内に全病院を一巡するとも言われている。

兵庫協会では、これまでにも会員病院からの「適時調査」の事前相談にも応じているが、今後は書類不備等で会員病院が不利益を受けないように事前相談等に積極的に取り組んでいかなければと考えている。

【大久保病院 吉岡 巖】

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民公開講座

食生活と歯の健康 ～歯科医院は予防医療の最前線～

日時 10月9日(日) 14時～16時 会場 県農業会館11階大ホール

講師 幕内 秀夫先生

「フーズ&ヘルス研究所」代表。社員食堂改革、プロスポーツ選手の個人指導、保育園・幼稚園の給食改革などを行う。帯津三敬病院において食事相談を行う。

参加費 500円 定員 400人 (事前申込制)

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1809まで